

2017
BUSINESS
REPORT

第15期
事業概況

平成 28年4月1日 - 平成29年3月31日



 **LTT Bio-Pharma**

株式会社LTTバイオフーマ





株主の皆様には、格別のご配慮とご支援を賜り誠にありがとうございます。

本事業年度当社は、LT-4002のドライアイに対する初期第Ⅱ相臨床試験を完了し、安全性と有効性を確認することに成功しました。ドライアイは患者数が急増しており、世界的にも新しい医薬品が求められている疾患です。既に複数の企業とライセンス交渉を開始しており、ライセンスアウト・共同開発契約締結を目指して参ります。また昨年度に引き続き、大学や他企業との共同研究による新たなパイプラインの創成、及び北京泰徳製薬との密接な連携によるビジネスも推進しております。

本事業年度では、PC-SODの新たな適応症の発見、北京泰徳製薬でのPC-SOD製造システムの確立、パイプラインの増加、新たな共同研究の開始、北京泰徳製薬包括支援契約の延長などの成果もあがっています。

今後とも株主の皆様のご理解、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

取締役会長 最高技術責任者・CTO 水島 徹

株主の皆様には、日頃よりひとかたならぬご支援を賜りまして誠に有難うございます。

創薬事業につきましては、当事業年度もライセンスアウトを目標にパイプラインの充実および開発ステージのアップに引き続き注力しております。また、当社のベストパートナーである北京泰徳製薬の業績向上に資するべく同社の新規プロジェクト支援なども積極的に行っております。

当社は継続して営業損失の状態にあり、営業外収益の受取配当金がこれをカバーするという収支構造となっております。当事業年度の業績は北京泰徳製薬からの配当金が予想を大幅に上回ったことから、当期純利益が1,408百万円となりました。つきましては株主の皆様への利益還元策として1株2,000円の期末配当を実施することと致しました。

当社は創薬事業からの収益確保が難しい状況にありますが、引き続き研究開発に邁進する所存でございます。株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 大塚秋夫



業績の概要

当社の当事業年度の売上高は、北京泰徳製薬股份有限公司との包括的支援契約に基づく報酬等により50,813千円(前期比27.9%減)となりました。

販売費及び一般管理費は支払報酬の増加等により572,666千円(前期比54.8%増)となったため、営業損失は538,376千円(前期比70.8%損失増)となりました。

しかしながら、北京泰徳製薬股份有限公司の受取配当金が2,286,464千円と前期比で262.8%の大幅増となったことから、経常利益は1,818,458千円(前期比446.7%増)当期純利益は1,408,150千円(前期比432.5%増)とそれぞれ大幅増益となりました。

研究開発およびライセンス体制の強化

●ドライアイ治療薬(LT-4002)の第Ⅱ相臨床試験完了

ドライアイ治療薬(LT-4002)の第Ⅱ相臨床試験が終了し、一部の評価項目で有意な改善効果が見られたほか、その他の評価項目においても良好な結果を得ることができたことから、現在、次の臨床試験実施に向けた検討を開始しております。

●北京泰徳製薬股份有限公司によるPC-SOD臨床試験開始

北京泰徳製薬股份有限公司において、心筋梗塞を対象に中国でのPC-SODの臨床試験が開始されました。また、同社でのPC-SOD製剤の製造体制も整ったため、同社との連携を一層強化するとともに、当社においてもPC-SODの適応拡大等に向け検討を進めて参ります。

●ライセンス活動の推進

DR研究をはじめとした研究開発の進展に伴い、国内外の多くの製薬会社対し、ライセンスアウトに向けた積極的な交渉を行って参りました。引き続き、有望なパイプラインの増加とライセンスアウトの実現に向け注力して参ります。

当事業年度の業績

(単位:百万円)

	第14期 (2016年3月期)	第15期 (2017年3月期)	前期比増減
売上高	70	※1 50	△27.9%
研究開発費	202	257	+26.9%
その他販売管理費	167	※2 315	+88.4%
営業損失(△)	△315	△538	—
営業外損益	647	※3 2,356	+263.9%
経常利益	332	1,818	+446.7%
当期純利益	264	1,408	+432.5%

※1 北京泰徳製薬股份有限公司との包括的支援契約に基づく報酬等

※2 支払報酬の増加によるその他販売管理費の増大

※3 北京泰徳製薬股份有限公司からの受取配当金による収入増加

2018年度3月期業績見通し

売上高は北京泰徳製薬股份有限公司との包括的支援契約の継続による収入等により60百万円前後となりますが、DR研究をはじめとする積極的な研究開発投資を計画しておりますので、営業損益は600百万円強の損失となり、営業外損益を差し引きした当期純損益も200百万円程度の損失となる見込みです。なお、営業外収益の北京泰徳製薬股份有限公司からの配当金につきましては、同社の配当政策や業績等により左右されるため、業績見通しが大きく変動する場合があります。

(単位:百万円)

	第14期 (2016年3月末現在)	第15期 (2017年3月末現在)
流動資産	2,845	4,120
現金及び預金	1,704	※1 3,517
有価証券	501	—
未収入金	602	558
固定資産	62	359
投資その他の資産	62	※2 359
資産合計	2,908	4,479
流動負債	146	311
未払金	83	68
未払法人税等	61	※3 236
固定負債	13	14
負債合計	160	325
株主資本	2,741	4,149
評価・換算差額等	6	3
純資産合計	2,747	4,153

※1 北京泰徳製薬股份有限公司からの受取配当金による現預金の増加

※2 満期保有目的の有価証券購入による増加

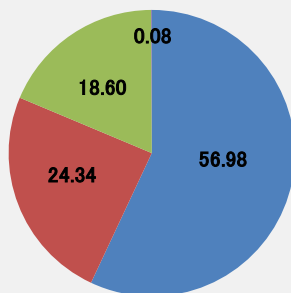
※3 当期純利益の増加にともなう法人税等の増大

大株主の状況

(2017年3月末現在)

株主名	持株数	持株比率
北京泰徳製薬股份有限公司	25,320	19.20%
一般財団法人水島記念財団	23,375	17.72%
SHINO BIOPHARMACEUTICAL LIMITED.	6,500	4.92%
個人	4,534	3.43%
個人	4,200	3.18%
個人	3,515	2.66%
個人	2,651	2.01%
個人	2,354	1.78%
個人	1,670	1.26%
個人	1,590	1.20%

投資家別保有株式分布状況



発行済株式の総数 131,868株

株主数 4,659名

- 個人・その他
- 外国法人等
- その他の法人
- 金融商品取引業者

名称

株式会社LTTバイオフーマ

所在地

〒105-0022

東京都港区海岸一丁目2番20号 汐留ビルディング3階

TEL:03-5733-7391 FAX:03-5733-7397

設立

2003年(平成15年)1月

前身は1988年(昭和63年)4月設立のエルティーティー研究所

資本金

1億円

役員

取締役会長 水島 徹

最高技術責任者・CTO

代表取締役社長 大塚 秋夫

取締役 関根 準三

取締役 大谷 培夫

取締役 謝 炳

取締役 鄭 翔玲

取締役 趙 焰平

監査役 熊谷 鈴司

パートナーシップ

資本・業務提携

北京泰德制药有限公司

研究委託先

聖マリアンナ医科大学

日本大学

就実大学

武蔵野大学



北京泰德製薬本社(中国北京市)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行
同連絡先	<p>〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〈お問合せ〉 0120-232-711 〈各種手続用紙のご請求〉 東京 0120-244-479 大阪 0120-684-479 〈お手続き〉 三菱UFJ信託銀行 本店・各支店</p>
公告の方法	<p>電子公告により行う 公告掲載URL http://www.ltt.co.jp ※ただし、電子公告によることができない 事故、その他やむを得ない事由が生じた ときは、日本経済新聞に公告いたします。</p>